Canon

HS-120TKH
使用説明書

⚠ 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 煙が出ている、発熱している、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本体が破損した場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。
  また、もし液晶が手や衣服などに付着した場合は、直ちに石鹸で洗い流してください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
- ＵＳＢケーブルは、使い方を誤ると火災や感電の原因になります。次のことは必ずお守りください。
  - 束ねたり、結んだりしない。
  - 濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししない。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 分解しない。
  - 加熱しない、火の中に投入しない。
  - 充電しない。

  本機に使用しているボタン電池を取り外した場合は、子供がボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください。また、電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
  万一、子供が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重い物を載せないでください。置いた物が倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金属片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、最寄りのキヤノン販売サービスセンターにご連絡ください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。USB ケーブルを引っぱると、芯線の露出、断線など、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- 電池は使い方を誤ると電池の破裂、液漏れにより、周囲の汚損やけがの原因になることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 指定以外の電池は使用しない。
  - 極性（+と−の向き）に注意して正しく入れる。
  - 長時間使用しない時は、本機から電池を取り外しておく。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

取扱い方法についてのご質問、ご相談に電話でお答えします。

お客様相談センター（全国共通番号）

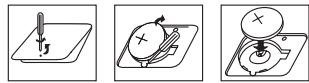
050-555-90025

[受付時間] <平日>9:00 〜 20:00
<土日祝日>10:00 〜 17:00
（1/1 〜 3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9632 をご利用ください。
※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

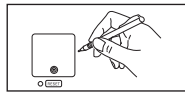
電　源

本機は、太陽電池と内蔵電池の２電源を併用しております。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切換わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

＊内蔵電池は、長時間にわたりご使用いただくことができます。内蔵電池が寿命になっても太陽電池計算機としてご使用になれますが、引き続き、内蔵電池でご使用になりたい場合は、右記の手順で電池交換を行ってください。

電池交換後は必ず本体裏面の RESET ボタン　を押し、再度税率を設定し直してください。

◆本機は約７分間操作を行いませんと、むだな電源消費を防ぐために自動的に電源が切れ、表示が消えます（オートパワーオフ機能）。この場合は、[ON CA] キーを押せば、再び電源が入ります。

本体裏面の RESET ボタン

計算中にすべてのキーの機能が働かなくなる等の異常が発生した場合は、本体裏面の RESET ボタンを先端の細いもので押してください。

修理受付窓口

修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせ下さい。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM 〜 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京ＱＲセンター・新宿 QR センターの営業時間は 10:00AM 〜 6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。）また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

（北海道地区）
※札幌サービスセンター　1 (011)728-0665 〒 060-8522　北海道札幌市北区北 7 条西 1-1-2 SE 山京ビル 1F　札幌支店内

（東北地区）
※仙台サービスセンター　1 (022)217-3210 〒 980-8560　宮城県仙台市青葉区国分町 3-6-1 仙台パークビルヂング1F　仙台支店内

（関東・信越地区）
大宮サービスセンター（持込のみ）1 (048)649-1450 〒 330-0854　埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-17 シーノ大宮サウスウイング6F　さいたま営業所内
東日本修理センター（持込のみ）1 (043)211-9032 〒 261-8711　千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2 キヤノン販売ビル 1F　幕張事業所内

（東京・神奈川・山梨地区）
東京 QR センター（持込のみ）1 (03)3837-2961 〒 110-0005　東京都台東区上野1-1-12　信井ビル1 F
新宿 QR センター（持込のみ）1 (03)3348-4725 〒 163-0401　東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル1F
横浜サービスセンター（持込のみ）1 (045)312-0211 〒 220-0004　神奈川県横浜市西区北幸 2-6-26 HI 横浜ビル 2F　横浜営業所内
※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）1 (0297)35-5000 〒 306-0605　茨城県岩井市大字馬立 1234　F7 棟 3F
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

（中部・北陸地区）
※名古屋 QR センター　1 (052)939-1830 〒 461-8511　愛知県名古屋市東区東桜 2-2-1 高岳パークビル1F　名古屋支店内

（近畿地区）
※大阪 QR センター　1 (06)6942-7418 〒 540-0003　大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3

（中国・四国地区）
※広島サービスセンター　1 (082)240-6712 〒 730-0051　広島県広島市中区大手町 3-7-5 広島パークビルヂング 1 F　広島支店内
※高松サービスセンター　1 (087)823-4681 〒 760-0027　香川県高松市紺屋町 4-10 鹿島紺屋町ビル 1 F　高松支店内

（九州地区）
※福岡 QR センター　1 (092)411-4173 〒 812-0017　福岡県福岡市博多区美野島 1-2-1 キヤノン販売福岡ビル 1 F　福岡支店内

2004 年 6 月 1 日現在　上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

お願いとご注意

- 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- 液晶表示部はガラスでできていますので強く押さえないでください。
- 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

PUB. E-IJ-976　PRINTED IN CHINA

２つのモードが選べます

本機には、通常の電卓として使用する計算モードと、テンキーとして使用するPC入力モードの2つのモードがあります。パソコンに接続していない時は、計算モードになります。USBケーブルでパソコンに接続中は、[PC/計算] キーで２つのモードを切り替えることができます。

計算モード

計算モードにした時は、電卓としての機能がそのまま使えます。また、計算結果をパソコンに送信することができます。

[ON CA] **電源オン／クリアオールキー**：電源を入れる時に押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めた全ての計算をクリアします（税率はクリアされません）。

[CI/C] **入力訂正キー**：入力した数値を訂正するキーです。数値を誤って入力した直後にこのキーを押すと表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。２回続けて押すと、計算途中の内容を全てクリアできます（メモリ計算の内容はクリアされません）。

[%±] **パーセント・プラス・マイナスキー**：パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います。

[BS] **バックスペースキー**：表示された数値を１桁ずつずらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力した時に、１桁ずつ訂正することができます。

[税率設定 税込] **税率設定・税込み計算キー**：税率の設定、税込み計算を行う時に使うキーです。あらかじめ計算したい税率を設定することができ、設定した税率で税込み計算を行うことができます。

[税率確認 税抜] **税率確認・税抜き計算キー**：税率の確認、税抜き計算を行う時に使うキーです。CA キーの後にこのキーを１回押すと、設定した税率が表示されます。また、設定した税率で税抜き計算を行うことができます。

メモリ計算

[M±] **メモリプラスイコールキー**：数値または演算結果をメモリに加算する時に使います。

[M∓] **メモリマイナスイコールキー**：数値または演算結果をメモリから引く時に使います。

[RM CM] **リコールメモリ／クリアメモリキー**：１回押すと、メモリ内の数値を呼び出します。続けて２回押すと、メモリ内の数値をクリアします。

PC 関連キー

[PC/計算] **PC/ 計算モード切替えキー**：PC 入力モードとして使用する場合と、通常の電卓として使用する場合を、このキーで切り替えます。

[送信] **送信キー**：計算結果をパソコンに送信するキーです。

計算結果の送信方法

計算結果がディスプレイ画面に表示された状態で、[送信] を押します。

※ パソコンと接続していない時は、[送信] キーは無効となります。
※ 計算結果を送信中に、キーを押しても無効となります。
※ 送信できるのは数値のみで、３桁位取りマークやM（メモリ），＝などの計算状態表示シンボルは送信できません。
※ エラー中（Ｅシンボル点灯中）は送信できません。
※ 税率設定中は送信できません。
※ データ送信中に異常が発生した場合、画面に「Error」が表示され、データが送信できなくなります。その際には [CI/C] キーを押せば送信中の数値が画面に表示され、[CA] キーを押せば数値がクリアされ、画面に「0.」が表示されます。

仕　様

型　式：キヤノン「HS-120TKH」
表　示：液晶表示12桁
演算桁数：置数、被演算数；12桁　結果；上位桁優先12桁
使用温度範囲：0℃〜40℃
ハブ仕様：規格；USB仕様 Revision2.0/1.1対応
最大通信速度；480Mbps(USB2.0/HS)、12Mbps(USB1.1/FS)、1.5Mbps(USB1.1/LS)
インターフェース；アップストリームポート／Bタイプ X1、ダウンストリートポート／Aタイプ X2
電源供給；バスパワー／セルフパワー
外形寸法：162mm（奥行）X106mm（幅）X44mm（高さ）
USBケーブル：1m
重　量：184g
電　源：本体裏面をご覧ください。
付属品：USBケーブル（1m）

◆改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

◆計算を始める前に、必ず [CA] キーを押してください。

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
140−25+22=137	140 [−] 25 [+] 22 [=]	(137.)
9÷5x3.2+7-1=11.76	9 [÷] 5 [×] 3 [・] 2 [+] 7 [−] 1 [=]	(11.76)
(2+4)÷3x8.1=16.2	2 [+] 4 [÷] 3 [×] 8 [・] 1 [=]	(16.2)
入力訂正の例		
(誤) 2x2 →(正) 2x3=6	2 [×] 2 [CI/C] 3 [=]	(6.)
(誤) 152x →(正) 152 +99=251	152 [×] [+] 99 [=]	(251.)
(誤) 123455 →(正) 123456	123455 [BS] 6	(123456.)
自乗・べき乗	[×] の後続けて [=] キーを（n-1）回押すと、n 乗が得られます。	
$4^3 = 64$	4 [×] [=] [=]	(64.)
逆数計算	[÷] [=] キーを続けて押せば、逆数を求められます。	
$\frac{1}{2} = 0.5$	2 [÷] [=]	(0.5)
定数計算	アンダーラインがひかれた数字が自動的に定数となります。	
2+3 =5	2 [+] 3 [=]	(5.)
4+3 =7	4 [=]	(7.)
1−2 =−1	1 [−] 2 [=]	(−1.)
2−2 =0	2 [=]	(0.)
2x3 =6	2 [×] 3 [=]	(6.)
2x4 =8	4 [=]	(8.)
6÷3 =2	6 [÷] 3 [=]	(2.)
9÷3 =3	9 [=]	(3.)
パーセント計算① 300 の 27%は？ $\frac{300 \times 27}{100} = 81$	3 [00] [×] 27 [%±]	(81.)
パーセント計算② 11.2 は 56 の何%？ $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	11 [・] 2 [÷] 56 [%±]	(20.)
割増し計算 1,200+(1,200 x 17.5%) = 1,410	12 [00] [+] 17 [・] 5 [%±]	(1’410.)
割引き計算 1,200−(1,200 x 17.5%) = 990	12 [00] [−] 17 [・] 5 [%±]	(990.)

メモリ計算

計算例	操作	表示
	[CA]	(0.)
3x4 = 12	3 [×] 4 [M±]	(M 12.)
−) 6÷0.2 = 30	6 [÷] [・] 2 [M∓]	(M 30.)
−18	[RM CM]	(M −18.)
+) 200	200 [M±]	(M 200.)
182	[RM CM]	(M 182.)
	[RM CM]（メモリのクリア）	(182.)

税計算

計算例	操作	表示
税率の設定（例: 5% に設定）	[CA] [税率設定 税込] 5 [税率設定 税込]	(税 % 5.)
確認	[CA] [税率確認 税抜]	(税 % 5.)
税込計算　税抜表示額2,000円の場合の税込額/税額を求めます。（税率5%）		
税込額 = ?	2000 [税込]	(税込 2’100.)
税額 = ?	[税込]	(税額 100.)
税抜計算　税込表示額3,150円の場合の税抜額/税額を求めます。（税率5%）		
税抜額 = ?	3150 [税抜]	(税抜 3’000.)
税額 = ?	[税抜]	(税額 150.)

◆[税込] / [税抜] キーを押すごとに、金額→税込額 / 税抜額→税額の順に表示されます。

オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは [CI/C] キーを押して解除してください。

(1)入力または演算結果の整数部が 12 桁を超えた場合

演算結果は上位 12 桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作 / 表示
123,456,789,012 x 10,000 = 1,234,567,890,12 0,000（エラー↑）	123456789012 [×] 10000 [=]　(E 1'234.56789012)

(2)メモリ内容の整数部が 12 桁を超えた場合　（M が点滅します。）
メモリがオーバーフローしたときは [CI/C] [RM CM] キーを続けて押せばオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び起こすことができます。

操作	表示
333333333333 [×] 3 [M±]	(M 999'999'999'999.)
123 [×] 456 [M±]	(M E 1.00000005608)
[CI/C]	(M 1.00000005608)
[RM CM]	(M 999'999'999'999.)

◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

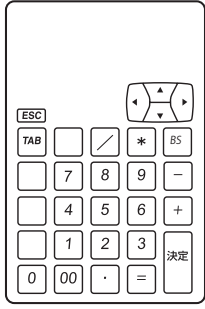
(3)除数が 0 の除算を行った場合

操作	表示
200 [÷] 0 [=]	(E 0.)

ＰＣ入力モード

USBケーブルでパソコンに接続した状態で PC/計算 キーを押し、PC入力モードにします。
PC入力モード時は、本体のディスプレイ画面に「PC入力モード」と表示されます。また、入力した数字及び計算状態表示も画面に表示されるため、入力内容の確認ができます（計算結果は表示されません）。

右記のキーを押すと、数字（0〜9）やキーに対応するコード（+、−、•、＊、／、=、決定、BS、TAB、ESC、←、→、↑、↓）をパソコンに送信でき、数字の入力やカーソル移動が行えます。

※ 右記のキー以外のキーを押しても無効となります。

＜PC入力モード時のキー入力＞

注意

※ パソコンがスクリーンセーバーモードに入った時は、以下のキーを押してパソコンを通常の状態に復帰させることができます（パソコンのスタンバイモードの解除はできません）。
・ 計算モード時：送信 キーを押すと、パソコンを通常の状態に復帰させることができます。
・ PC入力モード時：PC入力モード時に機能するキーであれば、どのキーを押してもパソコンを通常の状態に復帰させることができます。

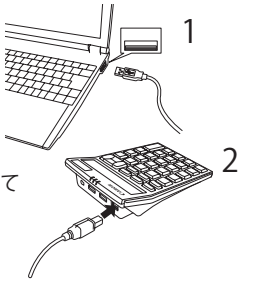
※ パソコンの入力設定が「かな入力」、入力モードが「ひらがな」の場合、本機からの数字入力はできません。この場合、入力モードを「英数モード」にしてお使いください。

※ PC入力モード時にUSBケーブルがしっかり接続されていないなどの問題があった場合には、自動的に計算モードへ切り替わります（モードが切り替わった後の最初のキー入力で画面に「0.」が表示されます）。この場合には、接続を確認し再度 PC/計算 キーを押せばPC入力モードに戻ります。

パソコンとの接続方法

以下の手順に従い、USBケーブルで本機とパソコンを接続します。

1 パソコンのUSBポートに、USBケーブルを接続します。
※ 必ず、パソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。

2 本機のUSBコネクターにUSBケーブルを接続します。
3 接続後、USBドライバのインストールを行います。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
※ 使用するパソコン（OS）によっては、自動的にUSBドライバのインストールが行われます。
※ 本機のキー使用中にUSBケーブルの抜き差しはしないでください。

USB2.0対応ハブについて

本機はUSB2.0対応ハブ（2ポート）機能を備えています。セルフパワー及びバスパワーモードの両方で動作可能です。
【バスパワーモード】
各ポート100mAまでのUSB2.0/1.1機器が利用できます。電流が不足した場合は、赤いライトが点灯するので、この場合は別売　の専用ACアダプタ（キヤノンAD-20）をご利用ください。
【セルフパワーモード】
プリンタなど本体で電源をもつUSB機器を接続する場合は、別売の専用ACアダプタ（キヤノンAD-20）なしで使用できます。
※ ライトについて：USB機器をハブに接続し、動作可能状態になると、接続したコネクタに対応する本体上部のライト（HUB 1、H　UB 2）が緑色に点灯します。電流不足の場合、左端の赤色ライトが点灯します。別売の専用ACアダプタ（キヤノンAD-20）で不足電流を補うと　、赤色ライトは消えます。
※ 本機はUSB1.1の環境でも使用可能ですが、この場合はUSB1.1の転送速度でのみ動作します。

注意

本機にはドライバは同梱しておりません。USB2.0の環境で動作させるためには、USB2.0対応のポートを装備したパソコンが必要です（USB2.0のドライバソフトは、　通常USB2.0対応のインターフェースボードのインストール時に同時にインストールされます。USB2.0インターフェースボードがUSB2.0ハブに対応可能かどうかは、インターフェースボードの製造元にご確認ください。）

動作環境

● OS
Windows ¤ 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版がプレインストールされていること
● パソコン
以下の条件を充たすIBM PC/AT互換（DOS/V）機
1 Windows ¤ 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPの日本語版が動作可能で本体にUSBポートを装備しているもの
2 日本語キーボードを有しているもの
※ その他、Windows ¤ 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPが推奨する動作環境に準拠。
※ 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
※ Windows ¤ 3.1/95/NT上では動作しません。
※ 他のOS（Windows ¤ 3.1/95/NT等）からWindows　¤ 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPにバージョンアップされたパソコンでの動作保証はいたしません。
・ Microsoft ¤ Windows ¤ は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・ IBM PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

キーボードの入力がおかしい時には

Windows Me/2000/XPをご使用の場合、USB接続の外部入力機器（日本語キーボードやテンキー等）を接続すると、Windows Me/2000/XPが英語101/102キーボードと認識し、接続されている全てのキーボードが英語101/102キーボード配列で動作する場合があります。この場合デバイスマネージャーに表示されるデバイスの表示とドライバの内容が一致せず、【@】を押すと【[　】が入力されるといった問題が発生します。
以下の手順にて正常に復帰させることが可能です。
※ OSによってはデバイスマネージャー上のキーボードが最初から英語キーボードになっている場合がありますが、日本語入力が問題なく行える（例：@が正常に入力できる）場合は、日本語キーボードに切り替える必要はありません。そのままご使用ください。

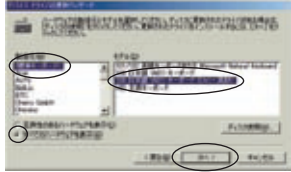
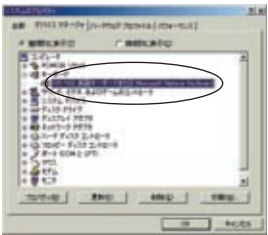
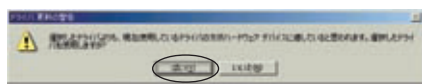
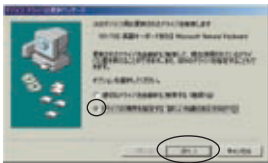
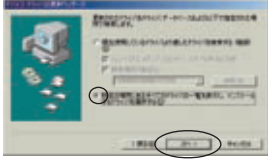
Windows Meの場合

1 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
2 【デバイスマネージャー】タブを選択します。
3 【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボードの名前をダブルクリックします。

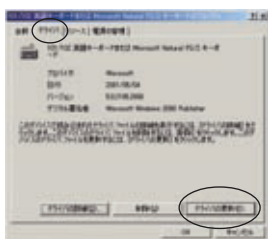
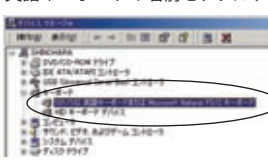
4 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。

5 【ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

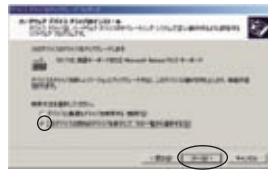
6 【特定の場所にあるすべてのドライバ一覧を表示し、インストールドライバを選択する】ラジオボタンを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

7 【すべてのハードウェアを表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）を、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

8 【ドライバ更新の警告】画面が表示されますので【はい】をクリックします。

9 【デバイスドライバの更新ウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

10 ドライバのインストール終了後、【完了】ボタンをクリックします。

11 手動でコンピュータを再起動します。

Windows 2000の場合

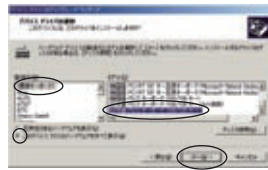
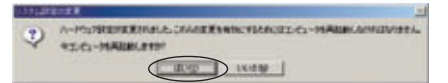
1 Administrators権限を持ったユーザーでWindows　にログオンします。
2 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】の順に選択し、【システム】をダブルクリックします。
3 【ハードウェア】タブを選択し、【デバイスマネージャー】ボタンをクリックします。
4 【キーボード】アイコンをダブルクリックしキーボードを表示させた後、英語キーボートの名前をダブルクリックします。
5 【ドライバ】タブを選択し、【ドライバの更新】ボタンをクリックします。
デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

Windows 2000の場合（続）

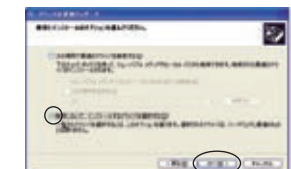
6 【次へ】ボタンをクリックします。

7 【このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する】ラジオボタンを選択して、【次へ】ボタンをクリックします。

8 【このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示】ラジオボタンを選択し、【製造元】から（標準キーボード）、【モデル】から現在お使いの日本語キーボード名を選択して【次へ】ボタンをクリックします。

9 下の画面が表示されたら、【はい】をクリックします。

10 【デバイスドライバのアップグレードウィザード】画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックします。ドライバのインストールが開始されます。

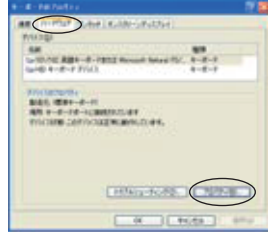
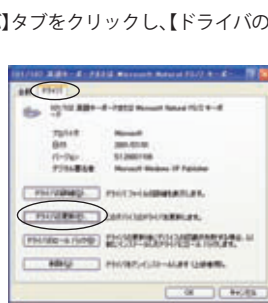
11 下の画面で【完了】ボタンをクリックします。

12 下の画面で【はい】ボタンをクリックします。
コンピューター再起動後、設定が有効になります。

Windows XPの場合

1 【スタート】→【コントロールパネル】→【プリンタとその他のハードウェア】の順にクリックします。
2 【コントロールパネルを選んで実行します】の【キーボード】をクリックします。

3 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイス】に表示されている英語キーボードの名前をクリックします。次に、【プロパティ】をクリックします。

※ クラシック表示に設定されている場合は、【スタート】→【コントロールパネル】→【システム】→【ハードウェア】タブ→【デバイスマネージャー】→【キーボード】の順にクリックし、表示されている英語キーボードの名前をダブルクリックします。

4 【ドライバ】タブをクリックし、【ドライバの更新】をクリックします。

5 【一覧または特定の場所からインストールする（詳細）】をクリックし、【次へ】をクリックします。

6 【検索しないで、インストールするドライバを選択する】をクリックし、【次へ】をクリックします。

7 【互換性のあるハードウェアを表示】チェックボックスをオフにします。次に、【製造元】ボックスの一覧から【（標準キーボード）】をクリックし、【モデル】ボックスの一覧から現在お使いの日本語キーボード名をクリックします。そして【次へ】をクリックします。

8 【完了】をクリックします。

9 【閉じる】をクリックします。再起動する旨のメッセージが表示された場合、【はい】をクリックするとすぐにコンピュータを再起動します。